

第1学年 地学基礎 授業計画表 (普通科・必修 2単位 1.5コマ)

年間目標	1. 地球科学・天文学に関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、適切な自然観を養う。 2. 実習や観察などを通して、事象を考察し、レポートに記述できるようにする。 3. 地球と地球を取り巻く環境と日常生活や社会との関連に関心を持ち、学習内容の理解の深化を図る。	使用教材	教科書：地学基礎 改訂版（啓林館） 問題集：改訂版 リードα 地学基礎（数研出版） 図表：ニューステージ 新地学図表（浜島書店）
期	I 期（中間考査まで／4月～5月）	II 期（期末考査まで／5月～7月）	
学習目標・学習内容	<p>[学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 地球の概観を学び、地球の内部構造について理解する。 地球の活動を支配しているプレートテクトニクスを理解する。 <p>[学習内容]</p> <p>第1部 固体地球とその変動</p> <p>第1章 地球</p> <p>第1節 地球の概観</p> <p>第2節 地球の内部構造</p> <p>第2章 活動する地球</p> <p>第1節 プレートテクトニクスと地球の活動</p>	<p>[学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> プレートの動きと関連させて地震、火山活動について理解する。 火山活動と関連して、火成岩の分類や特徴などについて理解する。 堆積岩が形成されるまでの過程を学び、地層の形成と変化を理解する。 <p>[学習内容]</p> <p>第1部 固体地球とその変動</p> <p>第2章 活動する地球</p> <p>第2節 地震</p> <p>第3節 火山活動と火成岩の形成</p> <p>第2部 移り変わる地球</p> <p>第1章 地球史の読み方</p> <p>第1節 堆積岩とその形成</p> <p>第2節 地層と地質構造</p>	
到達目標	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地球の形状、大きさなど地球の概観を理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地球の内部構造を探る方法と共に、地球の内部構造について理解する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・プレートの分布とその運動を理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・プレートテクトニクスの考え方と、最近の知見である地震波トモグラフィやプレートテクトニクスの考え方との関連を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・プレートの運動と、地震や火山活動との関係を理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地震の発生要因を理解し地震の型を理解する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地震波から得られる情報を処理できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・マグマの発生要因を理解し火山活動のタイプの違いを理解する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・鉱物について理解し、火成岩の分類ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・堆積岩が形成される過程を説明できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地層の構造から、時代の新旧が判定できる。	
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート等 ・中間考査（5月下旬） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート等 ・期末考査（7月上旬） 	
備考			

第1学年 地学基礎 授業計画表 (普通科・必修 2単位 1.5コマ)

年間目標	1. 地球科学・天文学に関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、適切な自然観を養う。 2. 実習や観察などを通して、事象を考察し、レポートに記述できるようにする。 3. 地球と地球を取り巻く環境と日常生活や社会との関連に関心を持ち、学習内容の理解の深化を図る。	使用教材	教科書：地学基礎 改訂版（啓林館） 問題集：改訂版 リードα 地学基礎（数研出版） 図表：ニューステージ 新地学図表（浜島書店）
期	Ⅲ期（中間Ⅰ／8月～10月、中間Ⅱ／10月～12月）	Ⅳ期（学年末Ⅰ／12月～3月）	
学習目標・学習内容	<p>[学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩石、地層から地球の歴史を推測する手段を理解する。 2. 生命の進化の歴史を、地球の歴史と関連させて理解する。 3. 大気・海水の循環と、エネルギー輸送や気象との関係を理解する。 4. 太陽系の構造と、太陽や惑星の性質、活動を理解する。 5. 恒星としての太陽の進化について、恒星の分類から学ぶ。 <p>[学習内容：後期中間Ⅰ]</p> <p>第2部 移り変わる地球</p> <p>第1章 地球史の読み方</p> <p>第3節 地球の歴史の区分と化石</p> <p>第2章 地球と生命の進化</p> <p>第1節 先カンブリア時代</p> <p>第2節 顕生代</p> <p>第3部 大気と海洋</p> <p>第1章 大気と海洋</p> <p>第1節 大気圏</p> <p>第2節 水と気象</p> <p>第2章 太陽放射と大気・海洋の運動</p> <p>第1節 地球のエネルギー収支</p> <p>第2節 大気循環</p> <p>第3節 海水の循環</p> <p>[学習内容：後期中間Ⅰ]</p> <p>第3部 大気と海洋</p> <p>第3章 日本の天気</p> <p>第1節 日本の位置</p> <p>第2節 冬から春の天気</p> <p>第3節 夏から秋の天気</p> <p>第4部 宇宙の構成</p> <p>第1章 太陽系と地球</p> <p>第1節 太陽系の天体</p> <p>第2節 太陽系の誕生</p> <p>第3節 太陽</p> <p>第2章 恒星としての太陽の進化</p> <p>第1節 太陽と恒星</p> <p>第2節 太陽の誕生と進化</p>	<p>[学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 銀河系の構造とまわりの銀河のようすを学び、宇宙の姿を知る。 2. 宇宙の時間的変化について、客観的に事実から考察する。 3. 地球環境と自然災害について学び、人間社会の在り方について考察する。 <p>[学習内容]</p> <p>第4部 宇宙の構成</p> <p>第3章 銀河系と宇宙</p> <p>第5部 自然との共生</p> <p>第1節 地球環境と人類</p> <p>第2節 第1節 銀河系とまわりの銀河</p> <p>第3節 第2節 宇宙の姿</p> <p>第4節 人間生活と地球環境変化</p>	
到達目標	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・堆積岩の生成の仕組みを理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地殻変動による特徴的な地形の形成について理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・生命の進化を、地球の歴史と関連させて理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・大気、海洋の構造と、それらの循環について理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・太陽系の構造と、そこにある天体の特徴が構造と併せて理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・恒星としての太陽の進化を理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・銀河系のまわりの様子と、宇宙の構造の関連を理解できる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・自然災害の性質と、発生原因を理解できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地球環境と人間社会の関係を考察できる。	
評価材料	・実習レポート等 ・中間Ⅰ（10月中旬） ・中間Ⅱ（12月上旬）		・実習レポート等 ・学年末Ⅰ（2月下旬）
備考			